

ガーナにおける視覚障がい者の 職業とその展望 -最終報告-

2014年2月1日

ワ盲学校 ICT教師24年度2次隊 三浦菜津子

目次

1. 調査の概要
2. 追加調査
3. 調査結果、分析
4. 行動計画
5. 今後の展望

1. 調査から見た現状の課題と方策

調査の概要

仮定

ガーナの視覚障がい者が就ける職業は少ないのではないか。

調査

国内外の就職方法、職業について以下の方法で調査

- 聞き取り調査
 - 文献、ネットから調査
-

結論

ガーナの視覚障がい者が就ける職業は、実際に少ない。

しかし、国外ではより多くの就職先が存在している。

➡ 就職に際して課題を克服すれば、今後ガーナでも就職先を増やせるはずだ。

提案

課題を克服するための提案

- ①視覚障がい者スキル向上
 - ②視覚障がい者の意識変革
 - ③晴眼者の意識改革
-

2. 現状を改善出来るヒント

2-1. 追加調査の結果①

調査事項	気づき
1. マッサージ需要の調査 ・国会議事堂のマッサージクリニック訪問 議員(又は出張でテレビ局員)に施術	1. <u>マッサージの需要はある</u> 特に効果を実感出来ると 需要は広がる。
2. 視覚障がい者に関する調査① ・文献、ネット等の二次情報を再度調査	2. <u>国外で様々な事例あり</u> 。「どんな職業に就けるか」ではなく「何をしたいか」で職を選ぶという考えを知る。
3. 視覚障がい者に関する調査② ・リベリア難民キャンプ職業訓練校訪問	3. <u>スキルに加え、個人のやる気・目的意識が重要と</u> 感じる。気持ちがあれば困難を乗り越えられる。

2. 現状を改善出来るヒント

2-1. 追加調査の結果②

調査事項	気づき
<p>4. 生徒の意識調査①</p> <ul style="list-style-type: none">・質問事項「将来就きたい職業とその理由」	<p>4. <u>気概のある生徒はいる。「視覚障がい者で初めて〇〇という職業に就く」という意見が出た。</u></p>
<p>5. 生徒の意識調査②</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒に調べた国内外の事例等を紹介・視覚に障がいがあるからといって「どんな職業に就けるか」と考えるのではなく「何をしたいか」で職を選ぶという考えについての意見を求める。	<p>5. <u>生徒が職業の事例をあまり知らないと判明した。(教師や弁護士以外の事例をほとんど知らなかった。)</u></p> <p><u>また、現実に対しての見方は厳しいと感じた。(11人中3人が同意、3人が「障がいのため就けない職業はある」と異論を唱え、5人は未回答。)</u></p>

3. 調査から見えてきた現状と課題 調査結果・分析

分析に使う職業分類表 ※総務省HP 日本標準職業分類より抜粋

職業大分類	解説	職業例
1 専門技術職	専門的性質の業務に従事 (通例、高度の訓練、または実務的経験を必要とする。)	機械・電気技術者、建築技術者、情報処理技術者、看護師(その他医療系)、小・中・高校教員他
2 サービス職	家事等の家庭内、接客等の個人へのサービス等に従事	家政婦(夫)、理容・美容師(見習含む)、エステティシャン他
3 管理職	内部組織の経営管理に従事	会社・団体の役員、部課長級・工場長級・支店長級の管理職(将来の候補含む)他
4 事務職	事務、および事務用機器の操作に従事	総務・人事係・広報係・事務、一般事務、医療事務、金融機関窓口事務、コンピュータオペレーター他
5 保安職	国家の防衛、法と秩序の維持等の仕事に従事	警備員、守衛、道路管理員、交通指導員、プール監視員他
6 農林漁業職	農作物の栽培・収穫の作業、家畜の飼育の作業等に従事	農耕作業員、養畜作業員、植木・造園師他
7 運輸通信職	乗り物の運転・操縦、通信機の操作等の仕事に従事	鉄道機関士、バス運転手、タクシー運転手、無線通信・技術士他
8 生産労務職	機械等を用いて原材料を加工・組み立てる作業等に従事	金属熱処理工、自動車関連部品組立・修理工、楽器製造工他
9 営業販売職	売買の仕事に従事	スーパー・小売店の販売員、保険セールスマン他

3.調査結果・分析

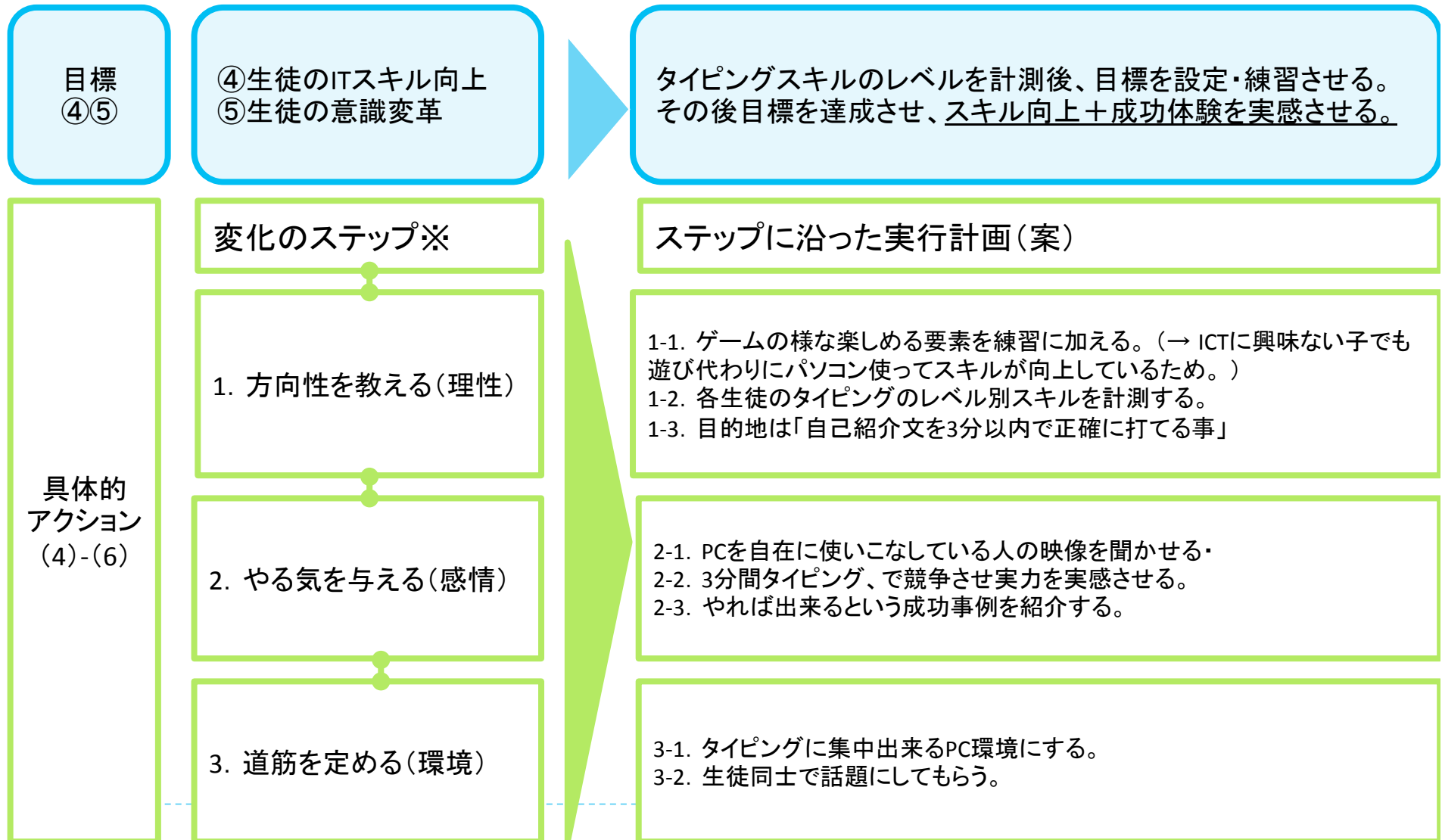
職業大分類	1. 事例 (国内)	2. 事例 (国外)	3. 特徴	4. 就職にあつたての課題	5. 課題克服のための方策	6. おすすめ 度
1 専門技術職	教員、弁護士等	+情報処理技術者	専門性が高いため、晴眼者と同じ安定した地位・給料を得られる。	高等教育が必須なため、学費を払える経済的余裕が必要。	奨学金制度の活用。 学力向上・統一試験合格。	◎
2 サービス職	マッサージ師	+指圧マッサージ師	視力以外の感覚が優れているため、それを生かせれば晴眼者よりも質の高いサービスを提供出来る。	専門の教育が必須となるため、ニーズのある技術を学べる場が必要。晴眼者との差別化も重要	ニーズのある技術（指圧等）の特定、認知拡大。	○
3 管理職	大臣	不明	一般職よりも高い給与・安定を得られることが多い。	通常は豊富な職業経験（人脈、他者に勝る能力）が必要。	3以外の職業で経験の取得。	△
4 事務職	不明	事務（一般・医療）、オペレーター	業種を問わないため選択肢が広い。事務処理能力（IT等）の基本的なスキルがあれば、仕事出来る。	晴眼者と比べると能力が劣る印象があること。	ITスキルの習得。 (晴眼者に勝るスキル)	○
5 保安職	警備員	不明	公共サービスに従事する場合、安定した給料を得られる。	晴眼者と比べると能力が劣る印象があること。	晴眼者に勝る能力の習得と、その能力を周囲に認めてもらうこと。	△
6 農林漁業職	農業	不明	家族・親戚が同業の場合は助け合える。収入は不安定な事が多い。			○
7 運輸通信職	不明	不明	公共サービスに従事する場合、安定した給料を得られる。			△
8 生産労務職	手工芸工	不明	視力以外の感覚が優れているため、それを生かせれば晴眼者よりも質の高い製品を提供可能。収入は不安定な事が多い。			○
9 営業販売職	不明	不明	業種を問わないため選択肢が広い。算術・接客能力があれば仕事出来る。			△

4. 改善に必要な視覚障がい者と晴眼者への対応策 行動計画

職業大分類	5. 課題克服のための方策	目標	具体的アクション	現状
1 専門技術職	奨学金制度の活用。 学力向上・統一試験合格。	①奨学金制度の 利用拡大	(1)利用可能な制度 の紹介	対応中
2 サービス職		②試験合格率向 上	(2)盲学校における 点字教材の充実化	
3 管理職		③指圧の紹介	(3)指圧について学 校に情報提供	
4 事務職	ITスキルの習得。 (晴眼者に勝るスキル)	④生徒の ITスキル向上	(4)実践練習の強化	計画中
5 保安職			(5)学習後の成功体 験	
6 農林漁業職	晴眼者に勝る能力の習得と、その 能力を周囲に認めてもらうこと。	⑤生徒の 意識変革	(6)職業事例を伝え、 将来の成功イメージ を実感させる	
7 運輸通信職		⑥晴眼者の 意識変革	(7)生徒・卒業生の 成功例を伝える	
8 生産労務職				
9 営業販売職				

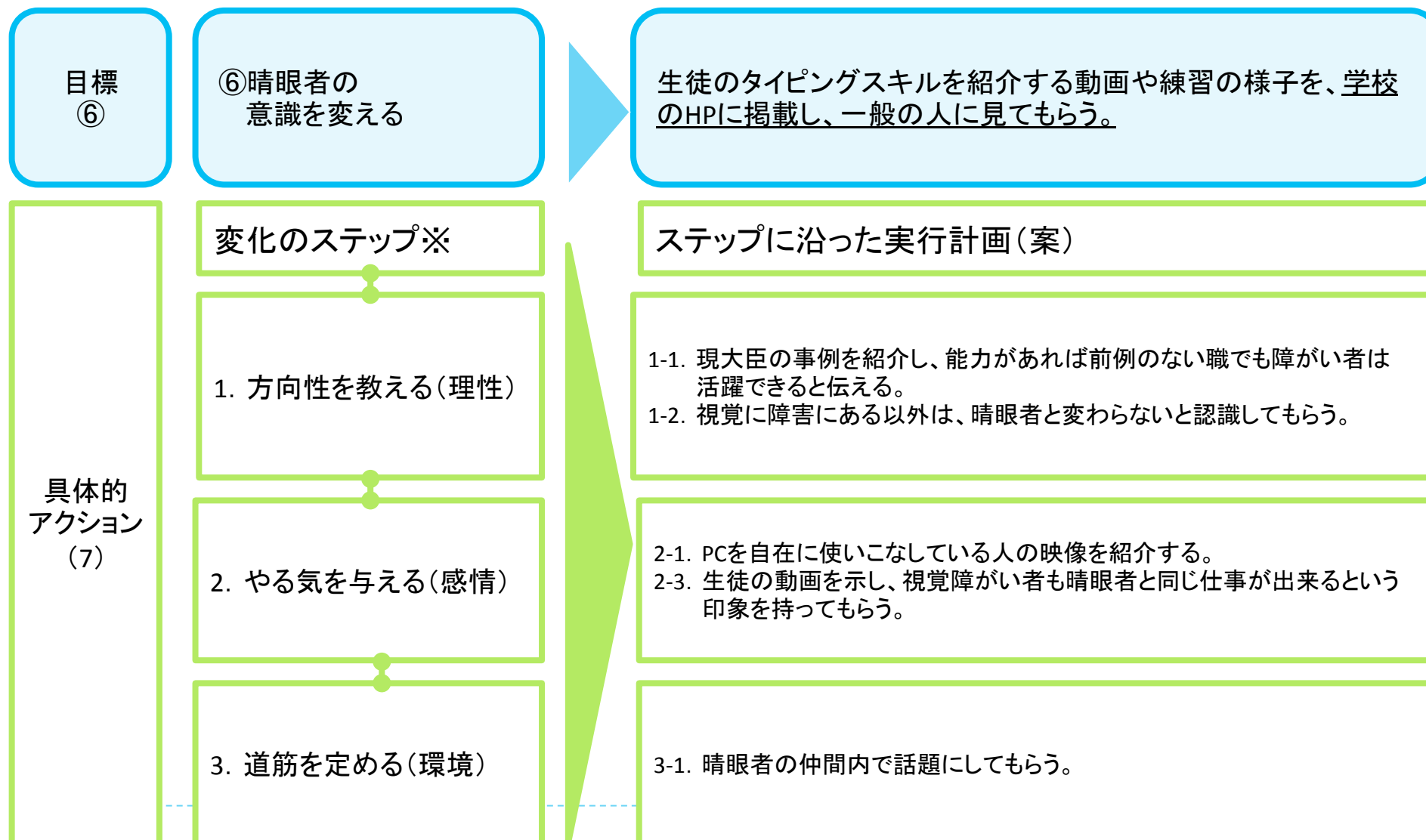
4. 行動計画

4-1. 視覚障がい者(生徒)に対しての行動計画



4.行動計画

4-2. 晴眼者に対しての行動計画



5. 2014年9月 帰国までの計画案 今後の展望

2014年2月-4月・・・計画実行

学期末(4月末)に結果を考察。必要に応じて計画変更・追加



2014年5月-7月・・・再度計画実行



2014年8月・・・最終結果報告